



図書館だより [朝読号]

2020/6/18 発行
大島高校安陵図書館
図書委員会：広報部

朝読書週間 7/1～7/9

- 朝読時間 ⇒ 8:25～8:40
- 8:20には、自分の席に着いてください。
- 事前に図書館から本を借りるか、家から好きな本を持って来るなど読む本の準備をしましょう。
- 教科書・問題集・漫画・雑誌は対象外です。
- 期間中、自習は控えてください。

★7月9日(木)に「ビブリオバトル」が行われます。

自分の興味のある本を読むことで、心のゆとりを持つことが出来ると思います。しっかりと取り組んでください。

6名の先生にアンケート
いただきました!(^^)!

1. オススメの本を紹介してください。
2. この本を手にとしたきっかけは何ですか。
3. オススメの本のポイントを教えてください。

【校長先生】



- 1.①「14歳からの哲学：考えるための教科書」 池田晶子/著
- ②「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」 ブレイディみかこ/著

2. 我が家では、本の情報を共有したり親子で同じ本を読んでいる。
3. ①「なぜ」を真正面から考えることの楽しさと大切さが伝わってくる14歳向けの哲学入門書。芦田愛菜さんオススメの本ということでも有名。
②人種差別、ジェンダー、貧富の差、アイデンティティなど、生きていくうえで大切なことは何かを問いかける親子の成長物語。異国の話だけど、私達一人一人の話でもある。

【立和名先生：国語】



1. 「老人と海」 ヘミングウェイ/著
2. 薄い単行本だったから。ハードボイルドとは何か知りたかったから。
3. 老漁師サンチャゴは、1人巨大なカジキと格闘する。仕留めることはできるのか!!
そして物語は、真のクライマックスへと突き進む!!

裏面には、福田・小川・塗木・柳原先生からの紹介本を掲載しています。



【福田先生：英語】



1. 「大切なことに気づかせてくれる 33 の物語と 90 の名言」

西沢泰生/著

2. 表紙のデザインが綺麗だったことと、中をパラパラめくってみたときに目に入ってきた言葉が印象的だったから。
3. 「人とのつながり」「仕事」「生き方」、それぞれの場面で誰もが持つ悩みに、そっと寄り添ってくれるエピソードと言葉が満載です。
きっと生きる力をもらえるとと思います。

【小川先生：理科】



1. 「アルジャーノンに花束を」

ダニエル・キイス/著

2. タイトルに惹かれたのと、ジャンルが SF。もともと SF 好きだからです。
3. 主人公の日記が書いてある本です。手術を受けて頭がよくなっていく様子が日記の文章レベルの発達から読み取れるところが面白いです。

【塗木先生：数学】



1. 「智恵子抄」

高村光太郎/著

2. 「智恵子抄」の中から【あどけない話】が教科書に載っていた。
3. 初めて親元を離れ、関東での一人暮らしをした時関東の空と鹿児島島の空の違いを感じた。
その時、ふと【あどけない話】の詩を思い出した。都会の大きさと凄さに圧倒されそうになる時、この詩を読むと故郷の良さを思い出し、再確認することで都会に負けない自信がでできます。

【柳原先生：保体】



1. 「六三四の剣」

村上もとか/著

2. 剣道を題材とした漫画ということで読み始めた。
3. 心に響く名言がかなり多くあり、その名言に触れるたびに考えさせられたり、勇気をもらったりすることができます。
心に強く残った言葉を紹介します。
主人公の母親が 18 年ぶりに剣道の試合に出て終わった時の言葉です。[18 年ぶりにここへ出させていただいて、改めて思ったことは、生きていくことはどんな試合よりも厳しい戦いだという事でした。]

★ 6/19～7/3 の期間中に借りた本の返却日を 7/10 まで延長します!

(*^^*)

この漫画は、武道館に全巻(10巻)ありますので、自由に利用してください。